

# 給水装置工事申込様式集

(R3 年度版)

諫早市上下水道局

<b>決裁</b> <small>技術管理者</small> <small>水道課長</small> <small>課長</small> <small>課長補佐</small> <small>主任</small> <small>産業建設課</small> <small>主幹</small> <small>主任</small> <small>受付者</small>	受付第	号	<b>合議</b> <small>経営管理課</small> <small>課長</small> <small>課長補佐</small> <small>料金担当主任</small> <small>料金担当</small>
	受付令和		
	承認令和		
	竣工令和		
	検査令和		

### 給水装置工事申込書(新設・改造・修繕・撤去)

令和 年 月 日

諫早市上下水道事業管理者 殿

申込者住所

フリガナ

氏名

TEL( - - )

下記の場所に給水装置工事の承認を申し込みます。なお、工事に際しては当方にて全責任をもち、上下水道局への迷惑は一切かけないことを誓約します。また、竣工後は責任をもって維持管理します。

設置場所	諫早市 町 番 号 番地
水栓所有者 (申込者と異なる場合記入)	住所 氏名
用途	1. 一般用 2. 営業用 3. 工業用 4. その他( )
給水方式	1. 直結方式 2. 受水槽方式 (各戸検針 有・無)

### 委任状

委任事項	上記の場所の給水装置工事に関する一切の件	
委任者	住所 氏名	水栓番号 開栓中・閉栓中 施工 年 月 号
受任者 指定給水装置 工事事業者	住所 氏名 TEL 印	確認印
主任技術者	住所 氏名 TEL 印	

検査手数料		加入金(要・否)		量水器取付			
管口径	金額	量水器口径	金額	取付日	口径	番号	指示
合計	円	合計	円				
収納番号	収納印	収納番号	収納印				

最小動水圧	時 分	測定場所	住所
	MPa		氏名
配水管	管種 口径	水系	公共下水道 有・無
添付書類	1. チェックリスト 2. 建築確認書 3. 口径計算書 4. 代理人届 5. 貯水槽水道設置届		
	6. 誓約書(臨時給水・浄水器等・住宅用スプリンクラー・3階以上直結・その他)		

利害関係人の同意書及び誓約書	布設同意書	私所有の土地に給水管を布設することを同意します。 所有者住所 氏名 印
	分岐同意書	私所有の給水管から分岐することを同意します。 所有者住所 氏名 印
	施工同意書	私所有の家屋に給水装置工事を施工することを同意します。 所有者住所 氏名 印
誓約書	給水装置工事に関する(布設、分岐、施工)同意書が下記の理由により提出できません。このことにより紛争が生じても上下水道局に対して一切迷惑をかけないことを誓約します。(理由) 申込者住所 氏名 印	

### 宅地内引込管譲渡書

設置場所の宅地内引込管を譲渡しました。

譲渡人 住所 氏名 印

譲受人 住所 氏名 印

着工予定日	令和 年 月 日	給水装置工事竣工届 給水装置工事が令和 年 月 日に竣工したので届けます。なお、竣工検査を令和 年 月 日にお願ひします。  指定給水装置工事事業者 印  検査立会者 印		
竣工予定日	令和 年 月 日			
承認条件・その他				
課長	課長補佐	主任	検査担当	竣工受付

位置図	工事概要	使用材料	品名	口径	数量	単位	品名	口径	数量	単位	品名	口径	数量	単位

設置場所 水栓所有者



# 申込書(表面)記入要領 ※申込用紙はA3サイズに拡大すること。

受付第	号
受付令和	
承認令和	
竣工令和	
検査令和	

**給水装置工事申込書(新設・改造・修繕・撤去)**

令和 年 月 日

**※修正する場合は必ず申請者の訂正印を押して下さい！**

諫早市上下水道事業管理者 殿

申込者住所 現住所(市外の場合は代理人届を添付)

フリガナ

氏 名

TEL(      -      -      )

※太枠で囲んである部分を記入して下さい。

下記の場所に給水装置工事の承認を申し込みます。なお、工事に際しては当方にて全責任をもち、上下水道局への迷惑は一切かけないことを誓約します。また、竣工後は責任をもって維持管理します。

設置場所	原則住居表示とし、新設工事等で住居表示がない場合は土地の地番を記入して下さい。
水栓所有者 (申込者と異なる場合記入)	申込者と水栓所有者が異なる場合記入して下さい。
用途	1. 一般用    2. 営業用    3. 工業用    4. その他(      )
給水方式	1. 直結方式    2. 受水槽方式 (各戸検針 有・無)

## 委任状

委任事項	上記の場所の給水装置工事に関する一切の件	水栓番号	
委任者	必ず申請者と同じ住所・氏名を記入して下さい。	開栓中・閉栓中	
受任者 指定給水装置 工事事業者	会社名だけでなく住所・電話番号・代表者氏名も忘れずに記入して下さい。また、代表印の押印をお願いします。	施工 年 月 号	
主任技術者	局に届け出ている必要があります。	確認印	

検査手数料		加入金(要・否)		量水器取付		
管口径	金額	量水器口径	金額	取付日	口径	番号
						指示
<p>※申請書を提出する前に料金担当窓口で以下の確認を受けて下さい。                  新設工事の場合・・・「流用水栓の確認」(申請者が過去に申請地以外で加入金を支払ったことがあり、現在その権利を利用していない場合、その権利を流用することで加入金を免除できることがあります。)                  改造・撤去工事の場合・・・「水栓番号の確認」(料金担当者が申請者の水栓番号を確認し、申請書に記入します。)</p>						
合計	円	合計	円			
収納番号	収納印	収納番号	収納印			

※申込者会社等の欄は必ず本人署名もしくは差し支えをしないでください(印刷は不可)

最小動水圧	時 分	MPa	※口径計算に用いる最小動水圧はあらかじめ局に確認して下さい。		
配水管	管種	口径	水系	公共下水道	有・無
添付書類	1. チェックリスト    2. 建築確認書    3. 口径計算書    4. 代理人届    5. 貯水槽水道設置届 6. 誓約書    ※チェックリストは必須、その他必要に応じて添付して下さい。    ・その他)				
利害関係人の同意書及び誓約書	布設同意書	私所有の土地に給水管を布設することを同意します。			
	所有者住所	氏 名			
	分岐同意書	私所有の給水管から分岐することを同意します。			
	所有者住所	氏 名			
施工同意書	私所有の家屋に給水装置工事を施工することを同意します。				
所有者住所	氏 名				
誓約書	給水装置工事に関する(布設、分岐、施工)同意書が下記の理由により提出できません。このことにより紛争が生じても上下水道局に対して一切迷惑をかけないことを誓約します。 (理由)				
	※利害関係人の同意が得られない場合は理由を記入して下さい。				
	申込者住所	氏 名			
宅地内引込管譲渡書					
譲渡人	住所	氏 名			
譲受人	住所	氏 名			
※宅地造成等で、事前に引込管だけが施工された土地を購入し、その引込管を利用して新設工事をする場合は、引込管の元の所有者と譲渡書を交わして下さい。(改造工事で名義変更をしている場合は該当しません。)					
着工予定日	令和	年	月	日	
竣工予定日	令和	年	月	日	
承認条件・その他					
給水装置工事竣工届					
給水装置工事が令和 年 月 日に竣工したので届けます。なお、竣工検査を令和 年 月 日にお願ひします。					
指定給水装置 工事事業者	竣工届時に記入・押印				印
検査立会者	検査立会後に主任技術者が署名捺印または記名押印				印
課長	課長補佐	主任	検査担当	竣工受付	

位置図

位置がわかりやすいものであること。

共用管を利用する場合等、本申請書の作図スペースでは配水管まで記入しきれないような場合は、位置図に青の破線で配水管・共用管の経路を書き込んで下さい。

設置場所                  水栓所有者

工事概要

【記入例】  
 専用住宅新築に伴う給水装置工事  
 (2階設備なし)

家屋リフォームに伴う給水装置工事  
 (建替えなし)

宅地造成に伴う宅地内引込工事  
 (専用住宅用地 10宅地)

品名	口径	数量	単位	品名	口径	数量	単位	品名	口径	数量	単位	
												使用材料

**横断図**

※新たに引込みをする場合、もしくは宅地内引込工事で布設した管を利用する場合。

平面図、管割図共に北が上となること。スペース上やむを得ない場合は方位を記入する。

**平面図**

原則として隣地境界線や接続配水管の埋設している道路まで記入すること。

**アイソメ図  
(立体図)**

位置図

工事概要

専用住宅建築に伴う給水装置工事

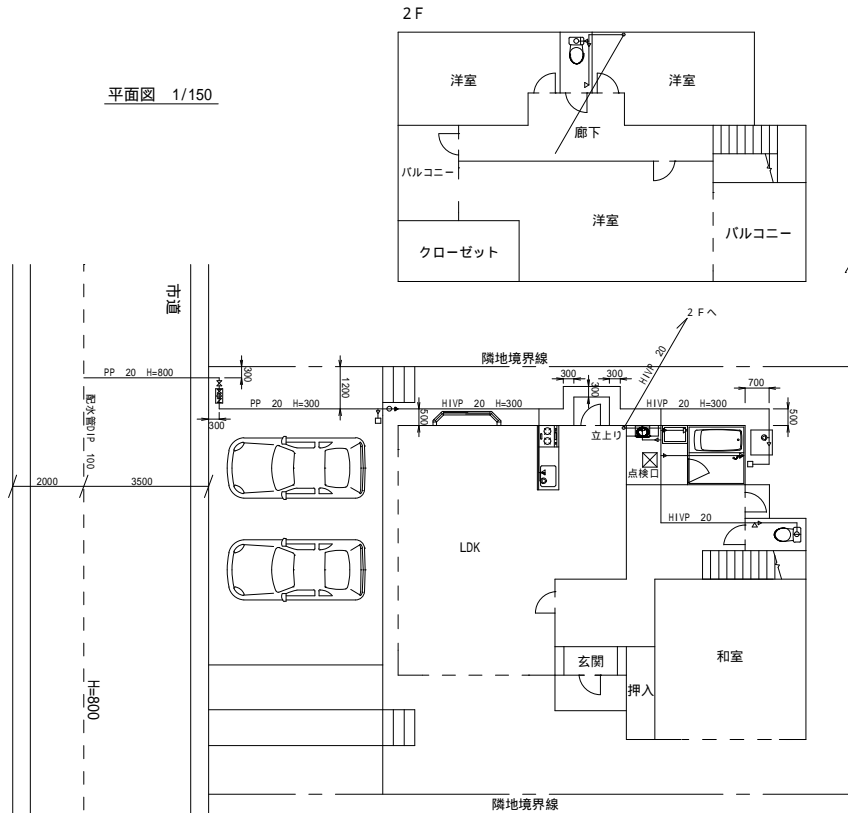
品名	口径	数量	単位	品名	口径	数量	単位	品名	口径	数量	単位
サドル分水栓	100×20	1	個	HIVP	13	1	m	浄水器	13	1	基
防食コア	20	1	個	HI継手		1	式	電気温水器	20	1	基
甲型止水栓	20	1	個	単水栓	13	2	個	ストレート止水栓	13	5	個
止水栓ボックス		1	個	混合水栓	13	2	個	逆止弁付ボールバルブ	20	1	個
開閉防止型ボール止水栓	13	1	個	シャワー付混合水栓	13	1	個	単式逆止弁	13	1	個
ボールリフト逆止弁	13	1	個	洗濯用水栓	13	1	個	保温材		1	式
メータボックス	13	1	個	万能ホーム水栓	13	2	個				
PP	20	10.0	m	水栓柱	13	2	個				
PP継手		1	式	ボールタップ	13	1	個				
HIVP	20		m	タンクレストイレ	13	1	基				

### 申込書（裏面）記入要領

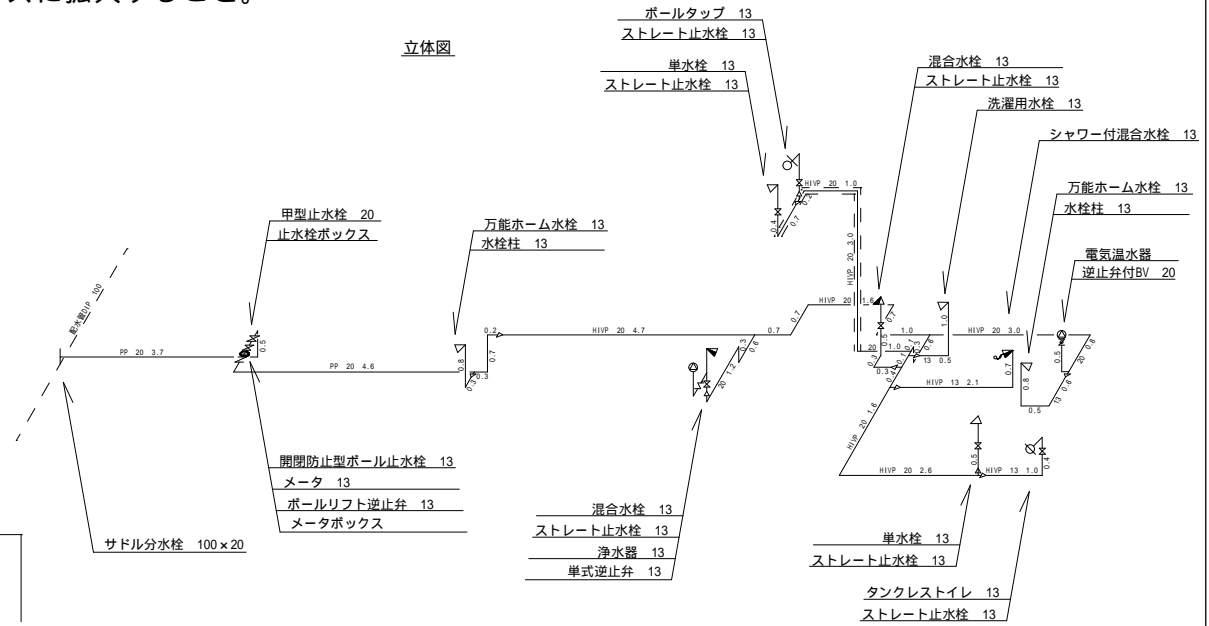
申込用紙はA3サイズに拡大すること。

設置場所 水栓所有者

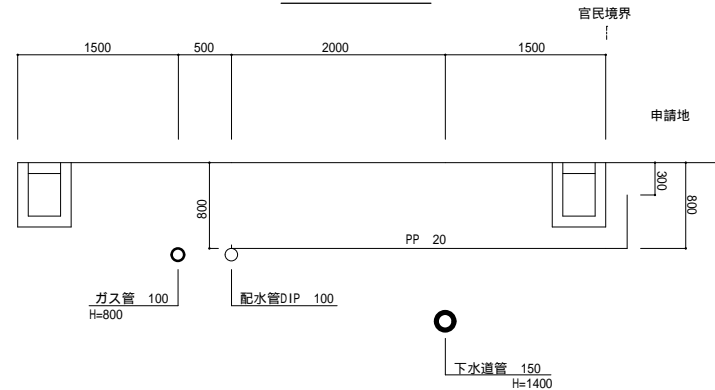
平面図 1/150



立体図



引込管横断面図 1/50



**給水装置工事申込書におけるチェックリスト(必ず申込書に添付すること)**

申請書受付番号R

設置場所及び申請者氏名

指定工事店及び主任技術者名

	審査項目	主任技術者	受付者
表紙	1. 申込書は厚紙に印刷されているか		
	2. 申込者・水栓所有者・委任者等の欄は本人の署名もしくは記名がされているか、また、フリガナがふってあるか		
	3. 申込者等が会社・法人の場合は代表者名が署名されているか、また、記名押印時は社印ではなく代表者印が押印されているか		
	4. 水栓所有者の住所はよいか(申込者と水栓所有者が異なる場合記入する)		
	5. 新設工事をする場合、流用水栓の有無が確認されているか		
	6. 改造工事をする場合、水栓番号の確認がされているか		
	7. 水栓所有者の名義変更が必要な場合、その手続きは済んでいるか		
	8. 主任技術者名の署名もしくは記名押印、および連絡先の記入がされているか(※申請手続きは必ず主任技術者が行うこと。)		
	9. 最小動水圧、測定場所・時間および接続する配水管の管種・口径は記入してあるか		
	10. 現地で図根点の有無を確認してあるか(図根点がある場合は担当課へ届け出ること)		
	11. 申請書の記入漏れはないか、また、文字すべてが明確に記入されているか		
	12. 必要に応じて利害関係人の同意書または宅地内引込管の譲渡書が書かれているか		
	13. 着工・竣工予定日は記入してあるか		
裏面	1. 位置図は現況に則したもので北を上とし、周囲との位置関係がわかりやすくなっているか		
	2. 設置場所および水栓所有者は記入してあるか(位置図下欄)		
	3. 工事概要・使用材料は記入してあるか		
	4. 平面図は北を上にしてあるか、また、立面図は平面図に向きを合わせて書かれてあるか		
	5. 平面図・立面図ともに接続する配水管から記入してあるか、また、管種・口径・延長は詳細に記入してあるか		
	6. 新設工事の場合、引込管の道路横断面図は記入してあるか		
	7. 新設管は実線、既設管およびその他水源(井戸等)は破線で記入してあるか(※申請時は鉛筆書きか別添とする)		
	8. 平面図には引込管経路、隣地境界線、建物の位置・構造等が分かりやすく記入してあるか		
	9. 布設箇所の道路種別(国・県・市・里道等)は記入してあるか(※道路以外である場合は地目・所有者等を記入する)		
	10. 配管位置(構造物からの離れ、オフセット等)および埋設深度は記入してあるか		
	11. 床下配管の場合点検口が記入されているか		
	12. 公道引き込みをやり直すとき、またはメータを流用するとき既存引き込み管は撤去されているか		
	13. 配水管接続部からメーター二次側逆止弁までの使用材料は局指定のものとなっているか		
	14. メーターは検針に一切支障がなく、引込箇所側の道路境界に近い位置となっているか		
	15. 配管の経路は適当か、また、クロスコネクション(井戸・太陽熱温水器等)になっていないか		
	16. 特殊器具は性能基準適合品(※認証証明書を添付する)であるか、また、逆流防止措置がとられているか		
	17. 露出配管部は鋼管又はさや管等による防護措置がとられているか		
	17. 露出部分・2階立上り部等には保温施工による凍結・結露防止の措置がとられているか	栓	栓
	18. 水栓数は何栓か(タンクレストイレは1.5栓で計上)		
19. メーターの許容流量および管内の上限流速は超えていないか			
添付書類等	1. 水栓所有者が市外である場合、代理人届が添付されているか		
	2. 建築確認済書の写しが添付されているか		
	3. 口径計算書(原則必要)は添付されているか		
	4. 貯水槽水道の設置・改造・廃止に係る工事である場合、貯水槽設置届(様式第1号)は添付されているか		
	5. 3階建以上の直結式給水または高置受水槽式給水である場合、事前協議書は提出してあるか		
	6. 浄水器・活水器等を設置する場合、認証証明書および誓約書(様式第3号)は添付されているか		
	7. 直結式スプリンクラーを設置する場合、事前協議書は提出してあるか、また、誓約書(様式第4号)は添付されているか		
	8. 受水槽二次側またはその他(井戸等)の給水設備を直結利用する場合、耐圧・浸出試験の結果は添付されているか		
受付者	1. 申請地は給水区域内であるか	/	
	2. 旧簡易水道区域である場合その旧事業名が朱書きされているか		
	3. 検査手数料および加入金は記入してあるか		
	4. 水系(減圧している場合は減圧系まで)は記入してあるか		

給水装置工事申込書におけるチェックリスト(必ず申込書に添付すること)			
申請書受付番号R		—	
設置場所及び申請者氏名			
指定工事店及び主任技術者名			
	審査項目	主任技術者	受付者
表紙	1. 申込書は <b>厚紙に印刷</b> されているか		
	2. 申込者・水栓所有者・委任者等の欄は <b>本人の署名もしくは記名</b> がされているか、また、 <b>フリガナ</b> がふってあるか		
	3. 申込者等が会社・法人の場合は <b>代表者名が署名</b> されているか、また、 <b>記名押印時は社印ではなく代表者印が押印</b> されているか		
	4. <b>水栓所有者の住所</b> はよいか(申込者と水栓所有者が異なる場合記入する)		
	5. 新設工事をする場合、 <b>流用水栓の有無</b> が確認されているか		
	6. 改造工事をする場合、 <b>水栓番号の確認</b> がされているか		
	7. 水栓所有者の <b>名義変更</b> が必要な場合、その手続きは済んでいるか		
	8. 主任技術者名の署名もしくは記名押印、および連絡先の記入がされているか(※申請手続きは必ず主任技術者が行うこと。)		
	9. 最小動水圧、測定場所・時間および接続する配水管の管種・口径は記入してあるか		
	10. <b>現地で図根点の有無</b> は確認してあるか(図根点がある場合は担当課へ届け出ること)		
	11. 申請書の記入漏れはないか、また、文字すべてが明確に記入されているか		
	12. 必要に応じて <b>利害関係人の同意書</b> または <b>宅地内引込管の譲渡書</b> が書かれているか		
	13. 着工・竣工予定日は記入してあるか		
裏面	1. 位置図は <b>現況に則したもので北を上とし、周囲との位置関係がわかりやすくな</b> っているか		
	2. 設置場所および水栓所有者は記入してあるか(位置図下欄)		
	3. <b>工事概要・使用材料</b> は記入してあるか		
	4. 平面図は <b>北を上</b> にしてあるか、また、立面図は <b>平面図に向きを合わせて書か</b> れてあるか		
	5. 平面図・立面図ともに接続する <b>配水管から記入</b> してあるか、また、 <b>管種・口径・延長</b> は詳細に記入してあるか		
	6. 新設工事の場合、引込管の <b>道路横断面図</b> は記入してあるか		
	7. <b>新設管は実線、既設管およびその他水源(井戸等)</b> は破線で記入してあるか(※申請時は鉛筆書きか別添とする)		
	8. 平面図には <b>引込管経路、隣地境界線、建物の位置・構造等</b> が分かりやすく記入してあるか		
	9. 布設箇所の <b>道路種別(国・県・市・里道等)</b> は記入してあるか(※道路以外である場合は地目・所有者等を記入する)		
	10. <b>配管位置(構造物からの離れ、オフセット等)および埋設深度</b> は記入してあるか		
	11. 床下配管の場合点検口が記入されているか		
	12. 公道引き込みをやり直すとき、またはメータを流用するとき <b>既存引き込み管は撤去</b> されているか		
	13. 配水管接続部からメーター二次側逆止弁までの使用材料は <b>局指定のもの</b> となっているか		
	14. <b>メーターは検針に一切支障がなく、引込箇所側の道路境界に近い位置</b> となっているか		
	15. 配管の経路は適当か、また、クロスコネクション(井戸・太陽熱温水器等)になっていないか		
	16. <b>特殊器具は性能基準適合品(※認証証明書を添付する)</b> であるか、また、逆流防止措置がとられているか		
	17. 露出配管部は <b>鋼管又はさや管等による防護措置</b> がとられているか		
	17. 露出部分・2階立上り部等には保温施工による <b>凍結・結露防止の措置</b> がとられているか	栓	栓
	18. <b>水栓数は何栓か(タンクレストイレは1.5栓で計上)</b>		
19. <b>メーターの許容流量および管内の上限流速は超えていないか</b>			
添付書類等	1. 水栓所有者が市外である場合、 <b>代理人届</b> が添付されているか		
	2. <b>建築確認済書の写し</b> が添付されているか		
	3. 口径計算書( <b>原則必要</b> )は添付されているか		
	4. 貯水槽水道の設置・改造・廃止に係る工事である場合、 <b>貯水槽設置届</b> (様式第1号)は添付されているか		
	5. <b>3階建以上</b> の直結式給水または高置受水槽式給水である場合、 <b>事前協議書</b> は提出してあるか		
	6. <b>浄水器・活水器等</b> を設置する場合、 <b>認証証明書および誓約書</b> (様式第3号)は添付されているか		
	7. <b>直結式スプリンクラー</b> を設置する場合、 <b>事前協議書</b> は提出してあるか、また、 <b>誓約書</b> (様式第4号)は添付されているか		
	8. 受水槽二次側またはその他(井戸等)の給水設備を直結利用する場合、 <b>耐圧・浸出試験の結果</b> は添付されているか		
受付者	1. 申請地は <b>給水区域内</b> であるか	/	
	2. <b>旧簡易水道区域</b> である場合その旧事業名が朱書きされているか		
	3. <b>検査手数料および加入金</b> は記入してあるか		
	4. <b>水系(減圧している場合は減圧系まで)</b> は記入してあるか		

## 【チェック要領】

### 表紙

- 給水装置工事申込書(以下「申込書」)は厚紙に印刷したうえでの配布は行っておりません。(申込書様式はホームページからダウンロードできます。)
- 給水装置工事申込者(以下「申込者」)が会社・法人等である場合は、ゴム印等を利用してかまいません。
- 申込者と水栓所有者が異なる場合、記入してください。
- 申込者が市内に別の給水装置を所有する場合、その給水装置を撤去することを前提として加入金が免除できる場合がありますので、事前に担当する窓口へ申込書を提示し確認を受けて下さい。
- 改造する給水装置の水栓番号について、事前に担当する窓口へ申込書を提示し確認を受けて下さい。
- 給水装置の所有者が変わっている場合は、事前に担当する窓口で名義変更の手続きを行って下さい。
- 最小動水圧は水道の使用の多い時間帯に計測して下さい。ただし、口径計算を行う場合は給水装置工事の受付窓口で確認を行って下さい。

### 裏面

- 現況と大きく変わっているような地図を使用する場合は、分かりやすく修正を行って下さい。
- 工事の規模を問わず、給水装置全体が把握できるように配水管から末端器具までを記入して下さい。また、給水管の延長は曲部やT字部で区切る等して詳細に記入して下さい。
- 申込書提出時は後々の変更等を考慮して原本への鉛筆書きを原則とします。CADを利用しカラー印刷しかできないような場合は、原本に印刷せず別紙(厚紙でなくてもかまいません。)として添付し、竣工時に原本に印刷して下さい。

- 一つの敷地に対する引込管は原則1本のみとなりますので、不要な引込管がある場合は配水管上でプラグ止めを行って下さい。「メーターの流用」とは、既存の給水装置を撤去して新たに別の場所に給水装置を設置し加入金の免除を受けることを指します。

- メーターの位置は局で決めることになっており、位置の変更を求める場合があります。

- 給湯類や浄水器(蛇口の末端に取付けるタイプのものを除く)等の水質を変化させる恐れのあるものや、管・継手類の一般的な材料とは異なり限定した用途で用いられるような器具を総じて特殊器具としており、適合品であることの確認として認証証明書の添付を求めています。

- 保温施工には凍結・結露防止のほか、残留塩素の消費を防ぐ目的があります。したがって、工事用の仮設給水等で露出配管する場合であっても、必ず保温施工が必要となります。

- 配水管から専用の給水管で引き込まれた給水装置で、総水栓数が1.1栓以下(タンクレストイレは1.5栓、φ20mmの水栓は3.5栓として計上)であるときは口径計算の添付を省略してもかまいませんが、低水圧区域である場合や、給水装置の用途によっては口径計算書の添付を求める場合があります。

### 添付書類

- 3～5階建建物への直結式給水や2～4階建建物の高置受水槽式給水については、先に事前協議書を提出し承認を受ける必要があります。
- 浄水器や活水器は水質を変化させる恐れがあり、申請者に対して自己の責任で設置しなければならないことを説明したうえで、誓約書を記入してもらって下さい。
- 小規模福祉施設に直結式スプリンクラーを設置する場合は、先に事前協議書を提出し承認を受ける必要があります。
- 受水槽の二次側や井戸等で利用していた設備を市水に切り替えて使用する場合は、事前に給水装置工事の受付窓口で必要書類を確認して下さい。



伺	課長	課長補佐	主任	課員	受付者	決済	起案
						月 日	月 日

受付支援システム入力

## 給水管分岐立会申請書

令和 年 月 日

給水装置工事受付番号 R - 工事種別[新設・改造・宅地内引込・臨時・撤去]

工事場所 諫早市

配水管(管種・口径) × 給水管(管種・口径) 防食コア挿入  
mm × mm 鋳鉄管 内面[モルタル・紛体]

施工方法

チーズ・丁字管 → 断水[戸・消火栓 基] → 断水広報[ビラ配布・その他]  
サドル分水栓 → 穿孔機[ドリル・ホルソー]  
割丁字管 → メーカー施工

立会日時 令和 年 月 日 ( ) AM・PM : 夜間

立会職員 後日写真提出

施工業者 主任技術者 TEL

※主任技術者は当日事前に立会職員へ連絡し、最終的な時間の調整を図ること。

添付書類

- 位置図  (必須)
- 給水装置工事申込書の複写(両面)  (必須)
- 道路占用許可書(写)[国・県・市]
- 道路使用許可書(写)
- 公有水面許可申請書(写)[国・県]
- 橋梁添架許可申請書(写)[国・県・市]
- 地下埋設物確認(写)[ガス NTT 九州電力 他( )]
- 断水計画書(当日作業工程表・断水範囲・配布ビラ等)

【記入要領】

伺	課長	課長補佐	主任	課員	受付者	決済	起案
							月 日

受付支援システム入力

給水管分岐立会申請書

令和 年 月 日

給水装置工事申込書の受付番号

給水装置工事受付番号 H〇〇-〇〇〇〇 工事種別【新設・改造・宅地内引込・臨時・撤去】

該当するものにチェックを入れる

工事場所 諫早市 〇〇 〇〇-〇

該当するものを〇で囲む

配水管 (管種・口径) × 給水管 (管種・口径)  
DIP φ100 mm × PP φ20 mm

防食コア挿入  
铸铁管 内面【モルタル・紛体】

施工方法

- チーズ・丁字管 → 断水 [戸・消火栓 基] → 断水広報 [ビラ配布・その他]  
サドル分水栓 → 穿孔機【ドリル・ホルソー】  
割丁字管 → メーカー施工

立会日時 令和 〇〇 年 〇 月 〇〇 日 ( 〇 ) AM (PM) 〇 : 〇〇 夜間

チェック不要

立会職員

記入不要

後日写真提出

施工業者 株式会社〇〇〇〇 主任技術者 〇〇 〇〇 TEL

※主任技術者は当日事前に立会職員へ連絡し、最終的な時間の調整を図ること。

添付書類

- 位置図  (必須)
- 給水装置工事申込書の複写 (両面)  (必須)
- 道路占用許可書 (写) [国・県・市]  該当するものにチェックを入れる
- 道路使用許可書 (写)  該当するものを〇で囲む
- 公有水面許可申請書 (写) [国・県]
- 橋梁添架許可申請書 (写) [国・県・市]
- 地下埋設物確認 (写) [ガス NTT 九州電力 他 ( ) ]
- 断水計画書 (当日作業工程表・断水範囲・配布ビラ等)

給水管分岐施工報告書

年度別番号

施工年月日	令和 年 月 日	分岐立会者	申請地・位置図		
施工箇所	町 番地	施工業者	住宅地図P.		
発注者		水栓番号			・
所有者		メーター番号			
発生種別	給水装置・配水管改良・配水管拡張・宅地開発・その他				
	口径	管種			埋設深度
給水管	mm		m		
配水管	mm		m		

分岐詳細・平面図

分岐詳細・断面図

# 【記入要領】

給水装置工事の場合は申込書の受付番号、配水管工事の場合は工事番号を記入する。

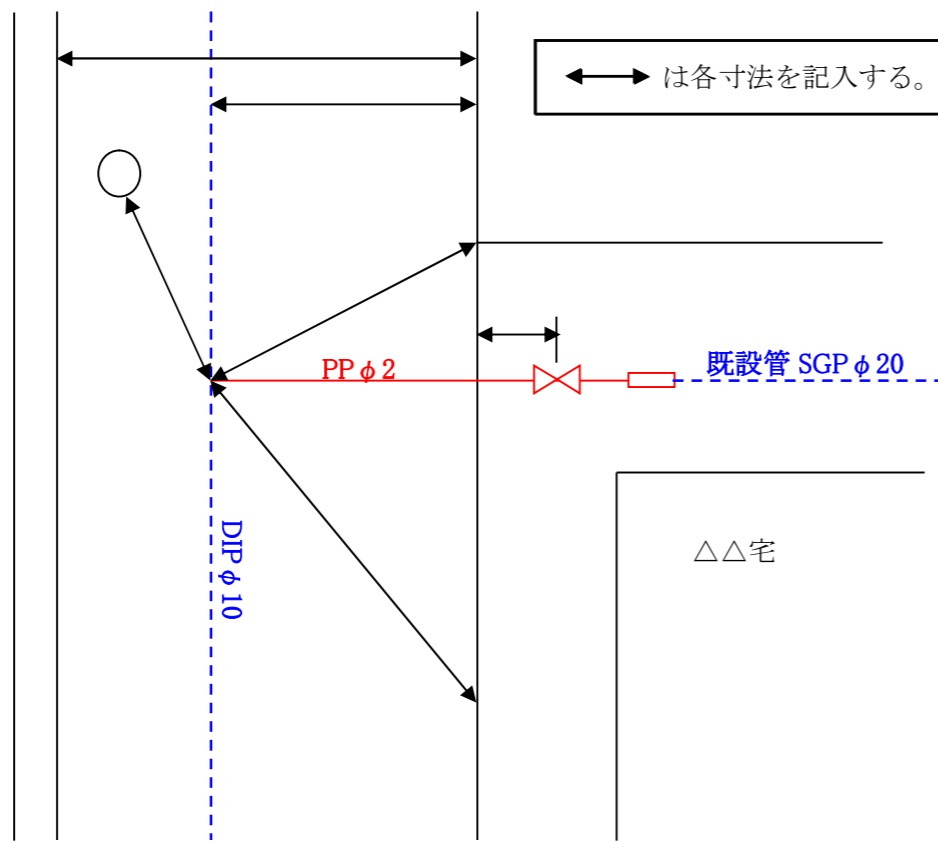
## 給水管分岐施工報告書

年度別番号

施工年月日	令和 年 月 日	分岐立会者	
施工箇所	町 番地	施工業者	
発注者	工事発注者名を記入	水栓番号	. .
所有者	引込管の所有者を記入	メーター番号	
発生種別	給水装置・配水管改良・配水管拡張・宅地開発・その他		
	口	該当するものに○	種 埋設深度
給水管	φ 20 mm	PP	m
配水管	φ 100 mm	DIP	m

### 分岐詳細・平面図

- ・平面図は周辺状況が分かるように記入し、向きは位置図に合わせる。
- ・石垣、塀、側溝、電柱、マンホールなど、オフセットの基準となるものについては特に詳細に記入すること。



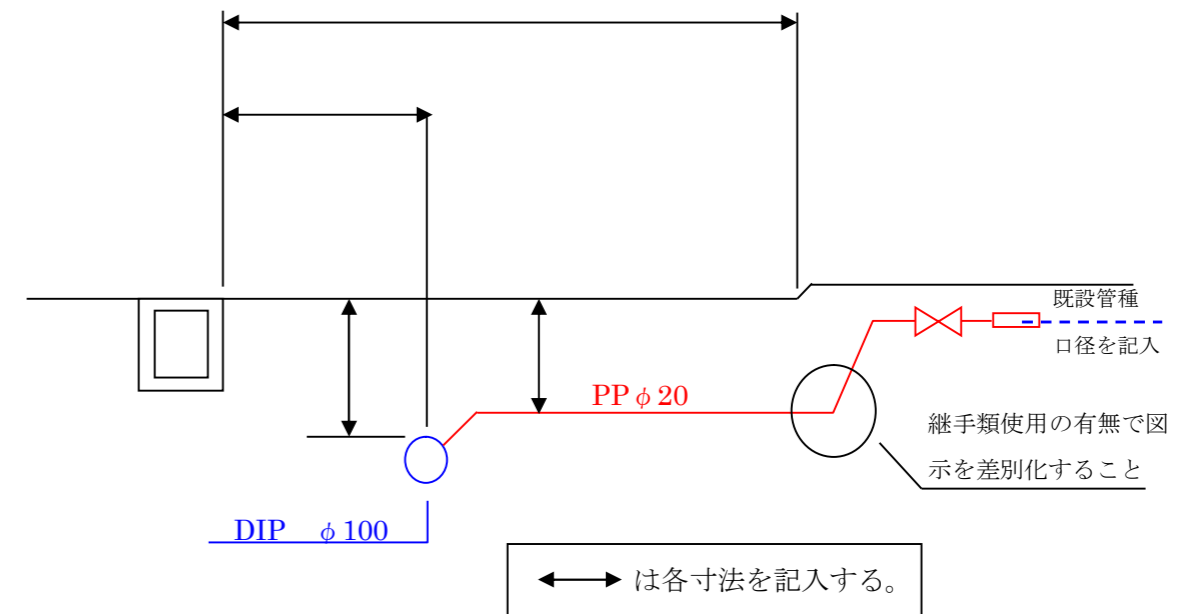
- ・本管、既設管については青の破線、施工した部分については赤の実線で記入すること。
- ・道路幅員および配水管の位置を表示すること。
- ・分岐箇所の位置をオフセットで記入すること。
- ・止水栓については境界からの離れを記入すること。
- ・オフセットは変動の可能性の低い構造物や、地籍基準点等から3点以上で記入すること。

### 申請地・位置図

- ・位置図は周囲との位置関係が分かりやすいものとし、北を上にする。
- ・申請地（一本の引込管で複数箇所給水している場合はその全て）を赤で着色すること。
- ・引込箇所については位置図に配管ラインを図のよう赤の実線で記入すること、また分岐元となる本管についても分岐箇所の前後にわたって青の破線で記入すること。



### 分岐詳細・断面図



- ・施工した部分を赤の実線、既設管・配水管については青の破線で記入すること。
- ・その他の埋設管（下水道・ガス・電気・NTT）についても位置を確認できたものは記入すること。

様式1号(第16条関係)

## 貯水槽水道設置(変更・廃止)届

令和 年 月 日

諫早市上下水道事業管理者 様

(申請者)  
住所  
氏名  
電話番号

下記のとおり給水施設を設置(新規・変更・廃止)しました。  
記

所在地	諫早市			
施設名		用途		
構造	地上 階・地下 階・延べ面積	m <sup>2</sup>		
	設置場所	構造・材質	基数	有効容量
受水槽				
高架水槽				

上記の建物に係わる給水施設の維持管理者を次のとおり定め、維持管理について下記事項を遵守します。

管理者住所	諫早市
管理者氏名	印
電話番号	

1. 申請者は、維持管理者に変更が生じた場合には、速やかに諫早市上下水道事業管理者へ届けること。
2. 維持管理者は、給水管分岐箇所から受水槽までの給水装置に異常を認めたときは、諫早市上下水道局指定給水装置工事事業者により点検、修繕を行うこと。
3. 維持管理者は、受水槽から蛇口までの給水施設に異常を認めたときは、給水施設の点検、修繕、清掃など必要な措置を行うこと。

様式第2号(第19条関係)

### 3階建以上の直結式給水事前協議書

新 設 ・ 既 設

令和 年 月 日

建築主氏名			〃 住所							
建築物の設置場所	諫早市									
工事概要										
建築物の用途										
指定工事店名 (担当者及び連絡先)	主任技術者名			TEL ( )			—			
協議年月日	令和 年 月 日									
協議者名	諫早市上下水道局									
建築年月日 (既設建物の場合のみ)	年 月 日									
最高位給水栓 の高さ(m)	m			設計水圧 (最高 0.50MPa)			MPa			
設計水量	1階		ℓ/分							
	2階		ℓ/分							
	3階		ℓ/分							
	4階		ℓ/分							
	5階		ℓ/分							
各階戸数	1階		2階		3階		4階		5階	
メータ口径	1階		2階		3階		4階		5階	
既設管水圧試験 (0.75MPa)	正 常 ・ 異 常									
直結給水 適用の可否	可 ・ 否 (適用範囲外であるため受水槽を設置すること。)									
条件・指示事項										
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・位置図、配管図(平面・立面図)、口径計算書、建築物設計書を添付すること。</li> <li>・協議内容に変更が生じた場合は、すみやかに再協議すること。</li> <li>・給水装置工事着工は、諫早市上下水道事業管理者の承認を得てから行うことを遵守すること。</li> </ul>									

様式3号(第24条関係)

## 浄水器等設置誓約書

令和 年 月 日

諫早市上下水道事業管理者 様

(申請者)

住所

氏名

電話番号

下記の事項について指導を受けましたが、自己責任のもとに浄水器等の設置を行うことを承認願います。

今後、水質・水量・水圧等に問題が発生しても、諫早市上下水道局に一切異議申し立てを行わないことを誓約致します。

### 記

#### 【浄水器等の設置に関する注意事項】

1. 浄水器等は末端給水栓の直近に設置すること。
2. 浄水器等の2次側は水質の変化があるため、給水装置における水質基準の範囲外とする。
3. 浄水器等の2次側では、水量・水圧の低下が発生する。
4. 浄水器等のろ過装置の取替え、メンテナンスを怠ると水質の低下が発生する。

以上

様式4号(第28条関係)

## 住宅用スプリンクラー設備設置誓約書

令和 年 月 日

諫早市上下水道事業管理者 様

(申請者)

住所

氏名

電話番号

住宅用スプリンクラーの設置にあたり、下記の注意事項を了知したことを誓約します。

### 記

1. 断水や水圧低下等により住宅用スプリンクラーの性能が十分発揮されない状況が生じても諫早市上下水道局は責任を負わない。
2. 住宅用スプリンクラーの火災時以外における動作及び火災時の非作動に係る影響に関する責任は、諫早市上下水道局が負わない。
3. 住宅用スプリンクラーの所有者又は使用者は、当該設備を介して連絡している水栓からの通水の状態に留意し、異常があった場合には、速やかに諫早市上下水道局又は設置工事をした者に連絡する。
4. 住宅用スプリンクラーが設置された家屋、部屋を賃貸する場合には、1から3のような条件が付いている旨を借家人等に熟知させる。
5. 住宅用スプリンクラーの所有者を変更するときは、以上の事項について譲受人に熟知させる。
6. スプリンクラー以外の給水用具(水栓等)を閉栓した状態での使用を想定している場合、その旨を利用者に周知徹底する。

以上



様式第5号(第5条関係)

### 3階建以上の用途未定建築物に対する直結式給水利用誓約書

令和 年 月 日

諫早市上下水道事業管理者 様

(申請者)

住所

氏名

電話番号

この度、下記の給水装置工事について、当方の事情により直結式給水方式を採用するにあたり、使用に際しては、緊急工事などによる突発的な断水、減水等が生じても当方にて処理し、貴局に対して一切苦情を申しません。また、当該給水装置を第三者が使用する場合、あるいは、所有者が変わる場合にも、本誓約書の主旨を十分に説明し引き継ぐとともに、紛争等が生じた場合も当方で責任をもって処理します。

#### 記

工事場所

工事概要 階建建物建築に伴う給水装置工事

用途

施工業者

以上

様式第6号

## 代理人届(新規・変更・廃止)

令和 年 月 日

諫早市上下水道事業管理者 様

(申請者)

住所

氏名

電話番号

下記の通り届け出ます。

記

水栓所在地 諫早市

施設名称

水栓番号

代理人住所 諫早市

氏名

印

電話番号

上記の水栓に係わる給水装置の維持管理について以下の事項を遵守します。

1. 申請者は、代理人に変更が生じた場合には、速やかに上下水道事業管理者へ届けること。
2. 代理人は、給水管分岐箇所から蛇口までの給水装置に異常を認めた時は、上下水道局指定給水装置工事事業者により点検、修繕を行うこと。
3. その他、諫早市水道事業給水条例に定める一切の事項を処理させるため委任すること。

以上

様式第7号

## 臨時使用誓約書

令和 年 月 日

諫早市上下水道事業管理者 様

(申請者)

住所

氏名

電話番号

下記の臨時給水装置については、期日までに責任を持って撤去することを誓約致します。

### 記

1. 設置理由

2. 設置場所 諫早市

3. 水栓所有者

4. 水栓使用者

5. 撤去期日 令和 年 月 日まで

6. 指定工事事業者

7. その他 量水器返還時に給水装置の撤去状況写真(着工前・全景、撤去状況・接写、竣工)を提出致します。

以上

様式第8号

## 給水装置工事中止願い

令和 年 月 日

諫早市上下水道事業管理者 様

(申請者)  
住所  
氏名  
電話番号

設置場所 諫早市

申請番号 令和 年 第 号

中止理由

指定工事店

様式第9号

(本人申請用)

令和 年 月 日

諫早市上下水道事業管理者 様

(申請者)  
住所  
氏名  
電話番号

給水装置工事竣工図等閲覧申請書

このことについて、私の給水装置に係る調査のため給水装置工事竣工図の閲覧を申請します。

記

1. 設置場所: 諫早市
2. 本人の確認方法
  - ① 運転免許証
  - ② 保険証
  - ③ 会員証
  - ④ 本人であることが証明できる書面( )

様式第10号

(同意書による申請用)

令和 年 月 日

諫早市上下水道事業管理者 様

(申請者)  
住所  
氏名  
電話番号

給水装置工事竣工図等閲覧申請書

このことについて、 様から給水装置工事に関する委任を受けましたので、給水装置に係る調査のため給水装置工事竣工図の閲覧を別紙同意書を添付し申請いたします。なお、給水装置工事竣工図の閲覧により知り得た情報は厳重に管理し、目的外に使用しないことを誓約いたします。

記

1. 設置場所:
2. 所有者  
住所:  
氏名:

上

令和 年 月 日

同意書

(同意者)  
住所  
氏名  
電話番号

印

私の給水装置に係る給水装置工事竣工図を、上記の申請者が閲覧することに同意いたします。

様式第11号

## 給水装置漏水等修繕工事依頼申請書

令和 年 月 日

諫早市上下水道事業管理者 様

給水装置所有者

住所

氏名

電話番号

諫早市 \_\_\_\_\_ 番地 敷地内の給水装置の漏水等修繕工事を申し込みます。

この工事については、給水管の漏水修繕に係る費用負担に関する要綱の規程に基づき申請いたします。なお、下記の内容については、申込者負担とします。

### 記

1. 漏水修繕工事にて植木・門扉等の障害物及びタイル貼りの復旧費用
2. 受水槽ボールタップの修繕工事費用
3. 出水不良等による修繕工事費用

.....  
( 掘削承諾書 )

上記の工事について、私所有の土地を掘削することを承諾します。

令和 年 月 日

土地所有者

住所

氏名

電話番号

印